

高島トレイルの終点 「丹波越」

高島を縦断「高島トレイル」

高島市には、高島トレイルと呼ばれる市内を縦断する登山ルートがあります。この道は、マキノ愛発越から今津の山を経て、朽木三国岳へと及び約80kmの道で、日本列島の日本海側と太平洋側を区切る中央分水嶺の中央部に位置しています。このトレイルでは琵琶湖と若狭湾の両方を望む事がで



き、地元の人々によって守られてきた古道や、かつて使われていた山道を活かして、今も多くの人々が訪れています。

トレイル終点の「丹波越」

高島トレイルの終点、朽木桑原の近くにある「丹波越」も、そうした古くからある峠の一つです。滋賀県最西端を流れる針畑川に沿って点在する集落の一つである桑原と、京都市最東

端の集落である久多を結ぶ峠で、川を避けて作られた山越えの道です。傾斜の多い道ですが、京との行き来には無駄のない直線的なルートで、戦国時代には急場での退却路として利用された事もあったと言われています。

織田信長が越前朝倉氏を攻めた際に、浅井長政の裏切りで敗走する

ことになった徳川家康が通った退却ルートが、この道であったといわれています。

また、久多は木地師など、山の仕事を行う人々の集落であったとされていますが、木地師は良質の木材を求め、山間の集落を渡り歩いたと言われており、この丹波越を利用していたのではないかと考えられています。

鯖街道の「丹波越」

現在、丹波越の近江側の道は歩きやすい道に整備され、「鯖街道」という表示もあるように、この道が若狭で水揚げされた海産物を京へ運ぶ「鯖街道」のルートの一つであったということがわかります。鯖街道としては、同じ朽木の「針畑峠」が有名ですが、実際には鯖を運んだルートは数多く存在すると言われており、丹波越もその一つです。

一方、京都側の道は廃道となり、久多まで抜ける事はできませんが、周辺の経ヶ岳・三国岳等へ



鯖街道 峠茶屋跡

つながるコースの一つとして、近年も登山を楽しむ人が訪れています。

園観光振興課 ☎(25) 8040

編集 雑感

「#タカシマノアサヒ」キャンペーンに参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。感謝を表現しようと、参加作品を並べて表紙の写真の撮影しました。並べて見ると、改めて高島市の朝日の素晴らしさが確認できますね。私は、このキャンペーンでたくさんの皆さんと一緒に魅力を発信できたことが一番嬉しかったです。これからも色々取り組んでいきますので、一緒に「高島市の魅力」を見つけて発信して行きましょう！(H)



広報たかしま

平成30年

3

月号

No.218

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

〒501-8501 滋賀県高島市新旭町北畑ののの番地

☎ 0740 (25) 8000(代)

http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp